

# Brillia砧公園

Brillia Kinutakouen

No. 06-007-2011作成

新築  
集合住宅

発注者	東京建物株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社熊谷組一級建築士事務所		E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
施工	株式会社熊谷組 首都圏支店		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

## 「デザインされた森」のすぐそばにあるレジデンス



外観写真

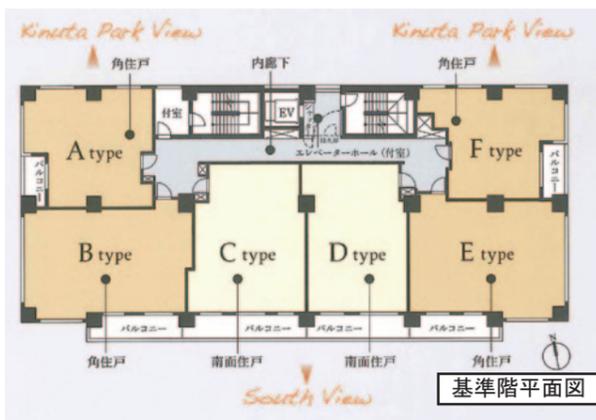
### 緑の環境を豊かに取り込んだ住環境

この地で享受出来るいちばんの魅力は、「緑の空気感」。四季の自然があふれ、春には桜の名所として名高い「砧公園」のすぐそばに暮らすという価値ある場所です。

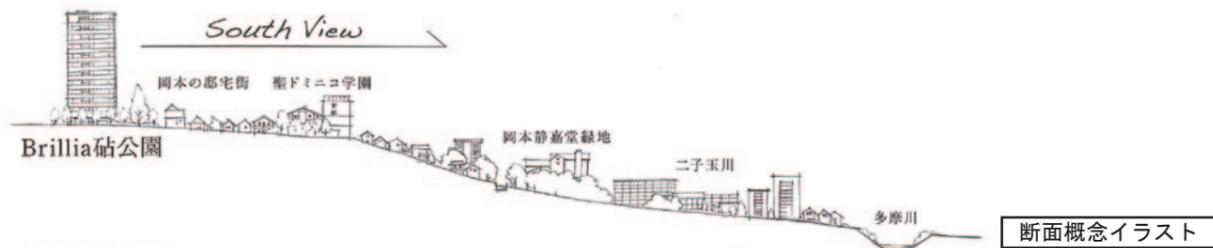
敷地の南側には貴重な庭園のある「岡本静嘉堂緑地」があり、緑と文化が調和し静けさの中に気品すら感じる場所に建つマンションです。

緑の広がりの中にあるという事を最大限に生かすことを考え、建物の南側を出来るだけ開けて空地を設けるなど、周辺の緑の広がり連続するように計画しました。

また、外壁も緑に溶け込むように白のタイルにすることで、この場所に溶け込み長く住み続けられる価値ある住まいを目指しました。

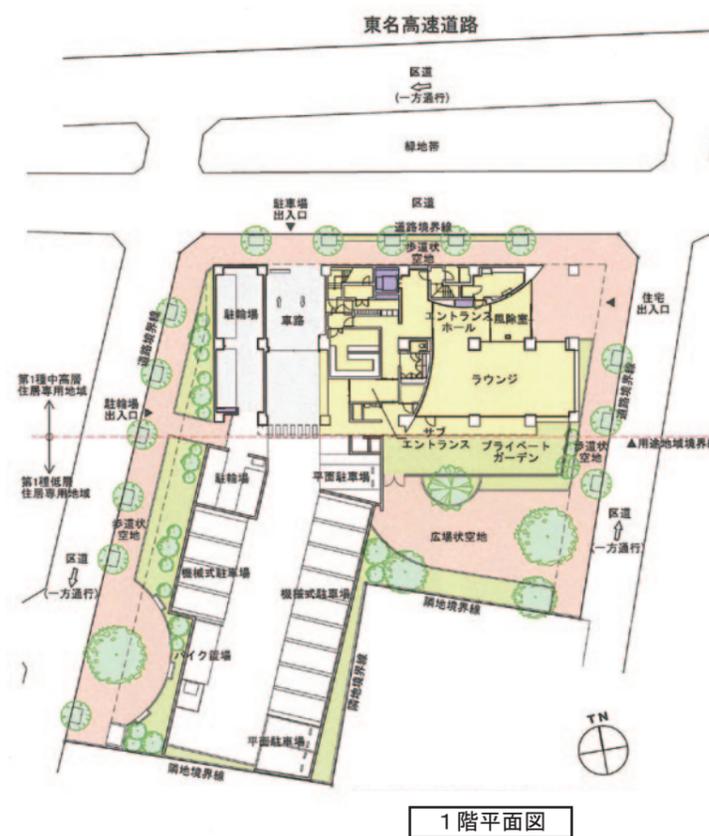
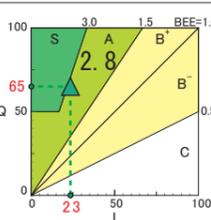


基準階平面図



断面概念イラスト

建物データ	所在地 東京都世田谷区	省エネルギー性能 品確法省エネ対策 等級4	CASBEE評価 Aランク BEE=2.8 2008年度版 自己評価
	竣工年 2011年		
	敷地面積 2,123m <sup>2</sup>		
	延床面積 6,159m <sup>2</sup>		
	構造 RC造		
	階数 地上12階		



1階平面図



上：東側広場状空地  
下：西側歩道状空地

### 価値ある住まいをつくる環境

本計画では、世田谷区総合設計制度を生かし空地を多く確保し、周辺環境の向上を図りました。敷地接道部全周に歩道状空地を設けて、通行の安全性を図るとともに高木を植樹することにより、風の影響の軽減と景観向上に配慮した計画としました。

また、敷地南東部に広場状空地を設け、保存可能樹木を配した広場を計画する事で、街に安らぎとゆとりを与えるだけでなく、高速道路の砧公園側に広がる緑の空間が計画地側にも緑の繋がりを感じさせる緑豊かな空間としています。

さらに屋上には高反射率塗装を使用し建物内へ進入する熱をカットし、外構部には保水性舗装を使用するなど環境配慮を行っています。

### 専有部

住戸においては、戸数の7割がコーナー住戸であり南面住戸を出来るだけ確保する事で住環境の向上を図っており、設備としてLow-Eガラス使用のペアガラスや高効率TES給湯暖房熱源機（エコジョーズ）を採用しています。

また、住宅性能表示制度における省エネルギー対策等級4（温熱環境）を取得しており、建物トータルとして環境負荷低減に大きく寄与しています。

### 共用部

メインエントランスを入ると、アール壁がやわらかい動線をつくる空間につながり、その奥にはラウンジがあります。樹木を多く配したプライベートガーデンを臨む形態とすることによって明るく開放的なラウンジとし、家族や住民同士のコミュニケーションの場ともなるように計画しました。

### 設計担当者

統括：飯田 宏／建築：庄司 敏治、宮本 勝正／構造：増子 寛  
設備：河合 秋峰／電気：端山 智之

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (EV長周期地震対応)
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (植栽による良好な景観形成)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (壁面位置、外装や色彩において、周辺のまちなみや風景との調和)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (歩道上空地・広場上空地)
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制 (Low-Eガラス)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (エコジョーズ)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (保水性舗装・高反射率塗装・方位に配慮した配置計画)